上野学園 石橋メモリアルホール
古楽月間 2015
参加公演

early music festival
古楽月間
2015

有村祐輔 指揮

モンテヴェルディ
聖母マリアの夕べの祈り

有村祐輔（指揮）
ロベルタ・マメリ (S)
松井亜希 (S)
波多野睦美 (Ms)
ルーファス・ミュラー (T)
櫻田亮 (T)
谷口洋介 (T)
小笠原美敬 (B)
アンサンブル・パルナス（オーケストラ）
セシリア・コンソート 2015（合唱）

※未就学のお子様の入場はお断りしております。
なお，託児所等は設けておりませんので，あらかじめご了承ください。

2015年9月23日（水・祝）

開場13:30　開演14:00

上野学園 石橋メモリアルホール

全席指定　前売 4,500 円／当日 5,000 円

東京文化会館チケットサービス
tel.03-5685-0650，http://www.t-bunka.jp/ticket/
2015年6月1日 発売開始

■主催　セシリア・コンソート 2015
■共催　上野学園 石橋メモリアルホール
■後援　JCDA 日本合唱指揮者協会，日本古楽協会
■お問い合わせ先　セシリア・コンソート 2015
(vespro20150923@jcom.zaq.ne.jp)

Claudio Monteverdi　Vespro della Beata Vergine

early music festival
古楽月間
2015

上野学園 石橋メモリアルホール
古楽月間 2015
参加公演

有村祐輔 指揮

モンテヴェルディ
聖母マリアの夕べの祈り

有村祐輔（指揮）
ロベルタ・マメリ (S)
松井亜希 (S)
波多野睦美 (Ms)
ルーファス・ミュラー (T)
櫻田亮 (T)
谷口洋介 (T)
小笠原美敬 (B)
アンサンブル・パルナス（オーケストラ）
セシリア・コンソート 2015（合唱）

※未就学のお子様の入場はお断りしております。
なお，託児所等は設けておりませんので，あらかじめご了承ください。

2015年9月23日（水・祝）

開場13:30　開演14:00

上野学園 石橋メモリアルホール

全席指定　前売 4,500 円／当日 5,000 円

東京文化会館チケットサービス
tel.03-5685-0650，http://www.t-bunka.jp/ticket/
2015年6月1日 発売開始

■主催　セシリア・コンソート 2015
■共催　上野学園 石橋メモリアルホール
■後援　JCDA 日本合唱指揮者協会，日本古楽協会
■お問い合わせ先　セシリア・コンソート 2015
(vespro20150923@jcom.zaq.ne.jp)

Claudio Monteverdi　Vespro della Beata Vergine

新時代を切り開いた壮麗な響き――
古楽なのに刺激的でエキサイティング！
16 世紀最先端の音楽を聴け！

音楽の天才は数あれど、世の音楽のスタイルをがらりと一変させた作曲家は、ベートーヴェン、ワーグナーなどごく少数。中でも極めつけはモンテヴェルディではないだろうか。何しろルネサンスという精緻に編み上げられた音楽スタイルを解体してバロックという迫力に満ちた書法に編み直し、しかも作品どれもが聴く人を魅了せずにはおかない豊かな音楽揃いなのだから。

代表作の一つ《聖母マリアの夕べの祈り》は宗教曲のスタイルを取りながら、実際には彼が北イタリアの宮廷のために書いた世俗曲の転用も含むとされ、当時最先端の実験的手法だった彼の表現の集大成としての多彩な楽曲群となっている。この後モンテヴェルディがオペラやモノディ（単旋律歌曲）など完全に初期バロック様式による作曲に専念することを考えれば、この曲は正に新しい時代を切り開いた傑作と言えよう。（早崎隆志）

●有村祐輔（指揮）

東京藝術大学声楽科卒。1969～72 年、英国に留学。ノッティンガム大学大学院修了（MA）。声楽をノーマン・ブラット、リコーダーと通奏低音をウォルター・バーグマン、音楽学（ルネサンス音楽および音楽解釈法）をデニス･アーノルド教授、スタンリー･ボーマン博士の各氏に師事。同時に、サー・ロジャー・ノリントン率いるロンドン・シュッツ合唱団、さらにはセント・ポール大聖堂聖歌隊に参加するなど、英国における合唱、宗教音楽の実際についても幅広く研鑽を積んだ。また、現代英国でのカウンター・テナーの草分けであるアルフレッド･デラーや、夭折した天才古楽演奏家デイヴィッド･マンロウ両氏の教えも受けている。1983～84 年、再度渡英し、オックスフォード大学に留学。主に 16 世紀イタリア・マドリガーレ資料研究を行う。現在は主にバロック・オペラの研究とその復活上演の指揮、著作、翻訳などに携わる一方、様々な合唱団の指揮、合唱コンクールの審査員、講習会の講師など、その活動は多岐にわたる。上野学園大学前教授、都留文科大学名誉教授。日本古楽協会代表。日本合唱指揮者協会会員。日本音楽学会会員。著書に「シェイクスピアの音楽」（大修館）、訳書「内なるオルフェウスの歌」（A･ルーリー著、音楽之友社）、監訳「古楽の復活」（ハリー･ハスケル著、東京書籍）などがある。

●ロベルタ･マメリ Roberta Mameli（ソプラノ）

イタリア、ローマ生まれ。これまでにカヴィーナ指揮《オルフェーオ》（ムジカ／エウリディーチェ）、《ポッペアの戴冠》（ネローネ）、《タンクレディとクロリンダ》（クロリンダ）、サヴァール指揮《オルフェオとエウリディーチェ》（プロセルピナ）などに出演。日本には、カヴィーナ率いる「ラ･ヴェネクシアーナ」の一員としてたびたび来日、2014 年秋の《ポッペアの戴冠》でのタイトルロールの熱演も記憶に新しい。つのだたかしや波多野睦美との共演も重ねており、2011 年 3 月にはつのだたかしの伴奏によるソロアルバム「ラクリメ･アモローゼ」（パルドン）が発売された。都留音楽祭でマスタークラスを行うなど、後進の指導にもあたっている。また北とぴあ国際音楽祭にて 2011 年《コジ・ファン・トゥッテ》（ドラベッラ）、2013 年《フィガロの結婚》（スザンナ）に出演、伸びやかな歌声とチャーミングな演技で大喝采を浴びている。

©Ribaltaluce

●ルーファス・ミュラー Rufus Müller（テノール）

ドイツ系イギリス人のテノール歌手。ニューヨーク・タイムズ紙で「これまでに聴いたメサイアの生演奏で最も素晴らしいテノール」と評されたほか、バッハの《マタイ受難曲》《ヨハネ受難曲》において最高のエヴァンゲリストの一人として、世界中で絶賛されている。19 歳という若さでタリス・スコラーズに参加、またその後コンソート･オブ･ミュージックにも参加しエマ･カークビーなどと共に歌い、古楽歌唱の知識を深める。現在ではピアニスト マリア・ジョアン・ピリスと定期的にパートナーを組み、シューベルトのリートをはじめとする歌曲で共演、ヨーロッパのみならず日本でも公演を行っている。レパートリーは幅広いが、特にダウランドなどイギリスの作品やシューベルト、シューマンなどのドイツ・リート、バッハ、ヘンデル、モーツァルトなどを得意としている。後進の指導にも積極的にあたっており、日本ではゲスト講師として都留音楽祭にたびたび招かれている。

▶松井亜希（ソプラノ）

© 篠原栄治

▶波多野睦美（メゾソプラノ）

©Amamiya Hideya

▶櫻田亮（テノール）

©Ribaltaluce

▶谷口洋介（テノール）

▶小笠原美敬（バス）

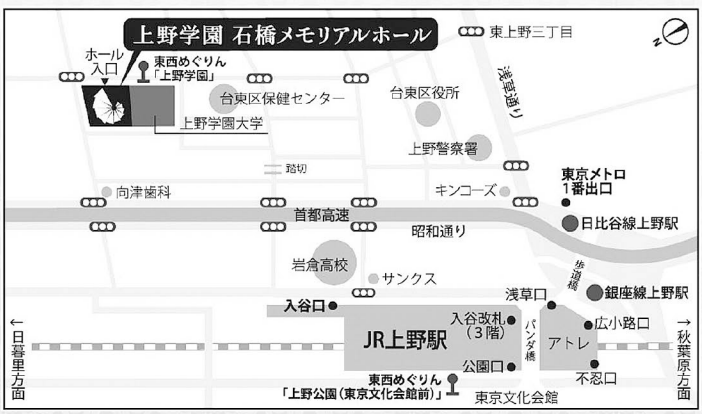
●●●アンサンブル・パルナス（オーケストラ）

我が国ピリオド・シーンの“今”を彩る俊英達による器楽アンサンブル。有村氏との共演も数多く、その精緻でエネルギッシュな演奏は常に高い評価を得ている。

コルネット	濱田芳通　細川大介　島田眞
トロンボーン	宮下宣子　小倉史生　青木治夫
リコーダー	古橋潤一　浅井愛
ヴァイオリン	川原千真　三輪真紀
ヴィオラ	吉田篤　小田瑠奈　宮崎桃子
チェロ	田崎瑞博
ヴィオローネ	諸岡典経
テオルボ	つのだたかし
オルガン	能登伊津子

●●●セシリア・コンソート 2015（合唱）

様々なアンサンブルや上野学園大学、都留音楽祭などで有村氏の指導を受けてきた有志を発起人とする本演奏会のための特別合唱団。かつて氏とのマドリガーレ演奏で鮮烈な“モンテヴェルディ体験”を経験したメンバーも多い。2013 年春の《メサイア》以来の再結集となるが、今回は有村氏の長年にわたるモンテヴェルディ研究の集大成的ステージでもあり、前回にも増して多彩なメンバーの参加を得た。



JR 上野駅：入谷改札より入谷口から徒歩８分
東京メトロ上野駅：１番出口より徒歩８分

Claudio Monteverdi　Vespro della Beata Vergine